



iPhone 11 Pro Max リアカメラの交換

このガイドを使って、iPhone 11 Pro...

作成者: Jeff Suovanen



はじめに

このガイドを使って、iPhone 11 Pro Maxに搭載された背面向きカメラを交換したり、取り外しをします。3つのカメラモジュールは1つのユニットとして交換します。

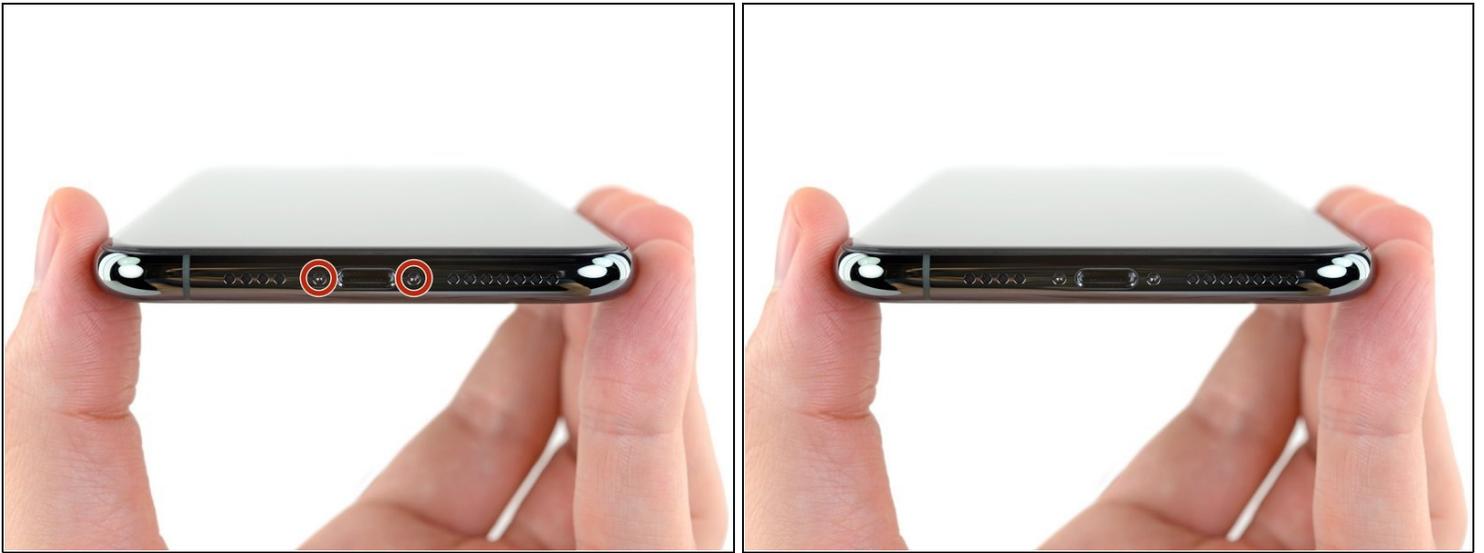
ツール:

P2 ペンタローブドライバー (1)
iOpener (1)
iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
Anti-Clamp (1)
ハンドル付き吸盤 (1)
トライポイントY000 ドライバー (1)
ピンセット (1)
スパッジャー (1)

部品:

iPhone 11 Pro Max ディスプレイアセンブリ用接着剤 (1)
iPhone 11 Pro and Pro Max Rear Camera (1)

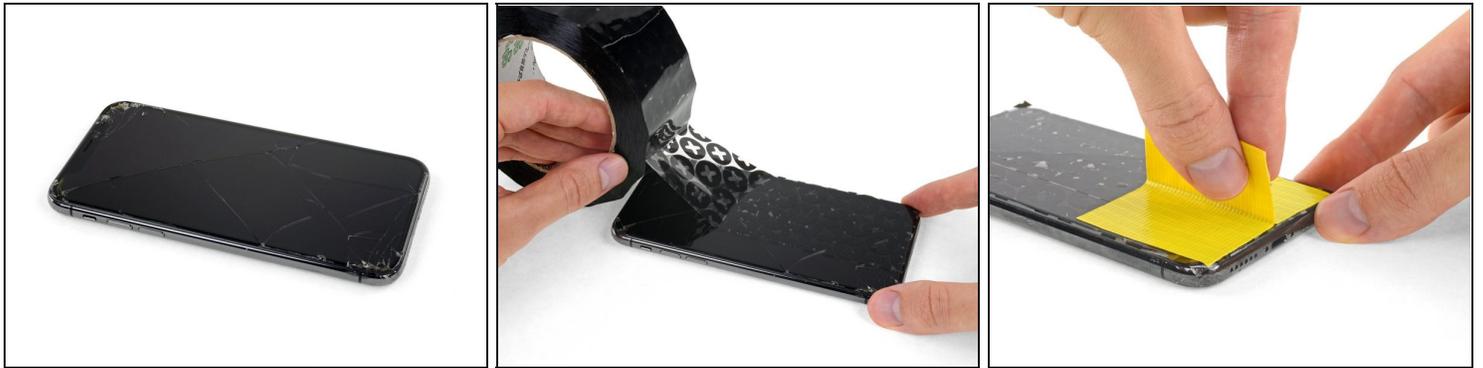
手順1 — ペンタローブネジを外します。



⚠ 作業を始める前に、iPhoneのバッテリー残量を25%以下まで放電してください。充電されたリチウムイオンバッテリーは、穴が空いてしまうと引火する恐れや爆発の危険性があります。

- 解体を始める前にiPhoneの電源を切ってください。
 - iPhone下側の端に留められた6.7 mm長さのペンタローブネジを2本外します。
- i** iPhoneディスプレイを開口するとデバイスの防水機能を失います。この手順より先に進む場合は、交換用の接着剤を用意してください。接着剤を交換せずに再組み立てをした場合、液体ダメージの可能性があることを留意してください。

手順 2 — ひび割れた部分にテープを貼る



① iPhoneの画面が割れてしまった場合、ガラスの表面上にテープを貼っておくと、それ以上広がることなく、作業中の怪我を防ぐことができます。

- iPhoneの画面の上に、透明な梱包用テープを重ね合わせます。

⚠ 修理の際に飛び散るガラスから目を保護するため、安全メガネを着用してください。

- 次の数ステップで吸盤がくっつかない場合は、強力なテープ（ガムテープなど）を持ち手に折って、代わりにそれでスクリーンを持ち上げてみてください。
- ① それでもうまくいかない場合は、吸盤カップに強力接着剤をつけて、画面に装着してください。

手順3 — リバースクランプの使用方法



- ① 次の3つの手順では、デバイスの開講作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。リバースクランプを使用しない場合は、この3つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。
- ② リバースクランプの詳細な使用方法については、[こちらのガイド](#)をご覧ください。
- 青いハンドルをヒンジ側に引くと、リバースクランプのアームを解除します。
 - iPhoneの左もしくは右側端に向けてアームをスライドします。
 - 吸盤カップをiPhoneの下端付近に装着します。前面と背面に1つずつ取り付けます。
 - 吸盤カップ両側をギュッと締め合わせると、標的の場所にしっかりと装着させることができます。
- ③ 作業中のデバイス表面が滑りやすく、吸盤がうまく装着できない場合は、[梱包用テープ](#)を表面に貼ると、よりグリップ力を強めることができます。

手順 4



- 青いハンドルを手前に引くと、アームがロックされます。
- ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。
- 吸盤の位置が合っていることを確認してください。装着位置がずれ始めたら、吸盤を少し緩めてアームを装着し直してください。

手順 5



- [Heat an iOpener](#)を温めて、リバースクランプのアームの間にこれを通してください。
 - ① [ヘアドライヤー](#)や [ヒートガン](#)もしくはホットプレートでも対応できますが、過剰な熱はディスプレイや内蔵バッテリーを破損する恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
- iOpenerを折り曲げて、iPhoneの下側端に当たるようにします。
- 1分ほど待機すると、接着剤が剥がれ始め、デバイスの中に隙間ができます。
- プラスチックベゼルとスクリーンの間の隙間にオープニングピックを差し込みます。スクリーン自体には差し込まないでください。
 - ① クランプで十分な隙間が作れない場合は、さらに接着面に熱を当てて、クランプを1/4程度時計回りに回してください。
- **⚠ 一回ごとの作業で1/4以上回さないでください。クランプをまわしたら1分間待ってください。リバースクランプの効果を待ってから、作業を続けてください。**
- 次の3つの手順はスキップしてください。

手順 6 — デバイス下部を温めます



- ① iPhoneの下側端を温めるとディスプレイを固定している接着剤が柔らかくなり、開口作業が簡単になります。
- ヘアドライヤーもしくはヒートガン、お持ちの方は*iOpener*を準備します。iPhone下側の端に載せて、下に付けられた接着剤が柔らかくなるまで約1分間温めます。

手順 7



- ハンドル付きのシングルタイプの吸盤を使用している場合、デバイス本体の下側端に沿って吸盤を取り付けます。ガラスのカーブした部分から離してください。

手順 8 — ディ스플레이をわずかに持ち上げる



- しっかりと一定の力で吸盤カップを引き上げ、フロントパネルとリアケースの間にわずかな隙間を作ります。
 - 隙間に開口ピックを挿入します。
- ① ディ스플레이を固定している接着剤は非常に強力です。まず最初に、隙間を作る作業にはかなりの力が必要です。作業が上手く進まない場合は、さらに熱を加えて温め、スクリーンを上下に軽く揺らしながら接着剤を弱め、ツールを挿入するのに十分な隙間を作ります。

手順 9 — スクリーンの接着剤を剥がす



- オープニングピックを本体下側の左端周辺までスライドします。それから、ディスプレイに留められた接着剤を切断しながら端に沿って本体上側に向けて移動します。
- ⚠ 内部のパーツを破損する可能性があるため、3mm以上オープニングピックを差し込まないでください。**

手順 10 — スクリーンの情報



⚠️ iPhoneの右側端に沿って、デリケートなケーブルが装着されています。この部分にピックを差し込まないでください。ケーブルを破損する恐れがあります。

手順 11



- iPhoneの下側端にオープニングピックを再度差し込みます。接着剤を切断しながら本体下側の右端より上部に向けてスライドします。

⚠️ ディスプレイケーブルを傷つける恐れがあるので、ピックを3mm以上差し込まないでください。

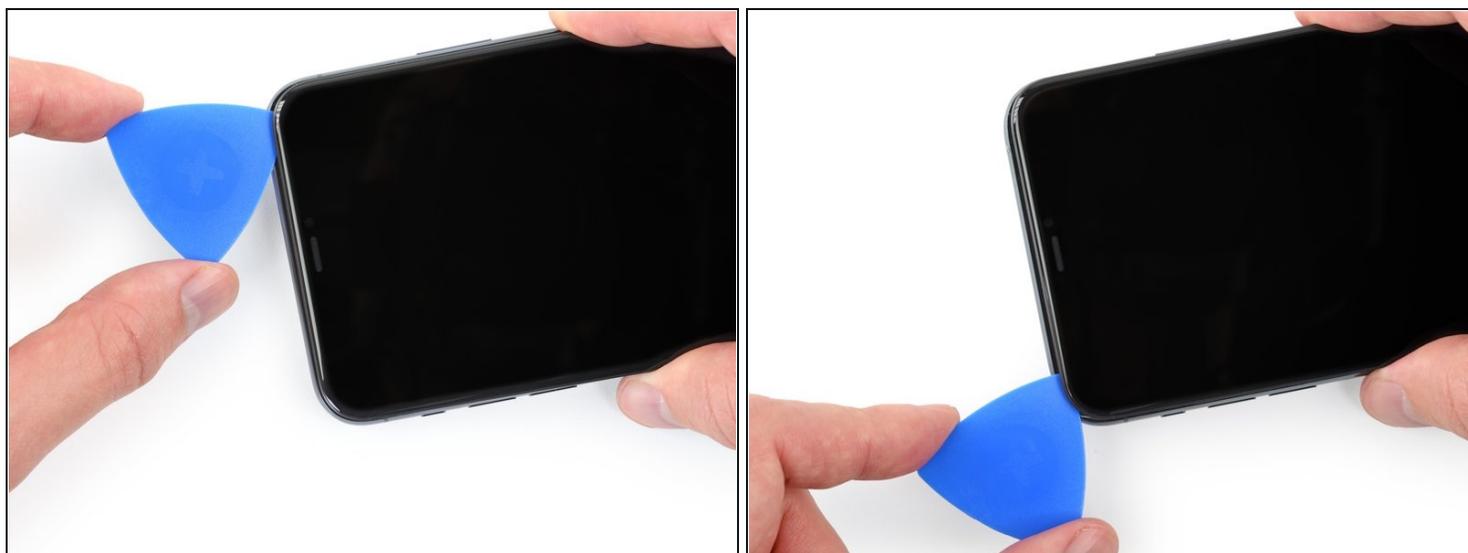
手順 12



① ディスプレイの上部端は接着剤とクリップ両方によって固定されています。

- 慎重に、ディスプレイ右端をわずかに(Lightningポートの方向に向けて)引き下げます。
- 開口ピックをデバイス上部右端コーナーに差し込みます。

手順 13



- 続けてLightningポート側にむけてディスプレイを引き下げて、開口ピックが差し込めるほどの隙間を作ります。
- 開口ピックをデバイス上部左側コーナーまでスライドして、ディスプレイを固定している残りの接着剤を切開します。

⚠ ピックを3mm以上、差し込まないでください。フロントパネルのセンサーアレイにダメージを与えてしまう可能性があります。

手順 14 — 吸盤カップを外します。



- 吸盤カップについて小さなノブを引き上げて、フロントパネルから外します。

手順 15 — iPhoneを開口します。



- iPhoneのディスプレイを左側から、ほんの表紙をめくるように、開きます。

⚠ ディスプレイを完全に外さないでください。幾つかのデリケートなリボンケーブルがiPhoneのロジックボードに接続されたままです。

- 作業中、ディスプレイを衝立てて固定するため、ディスプレイ背面側に箱を設置してください。

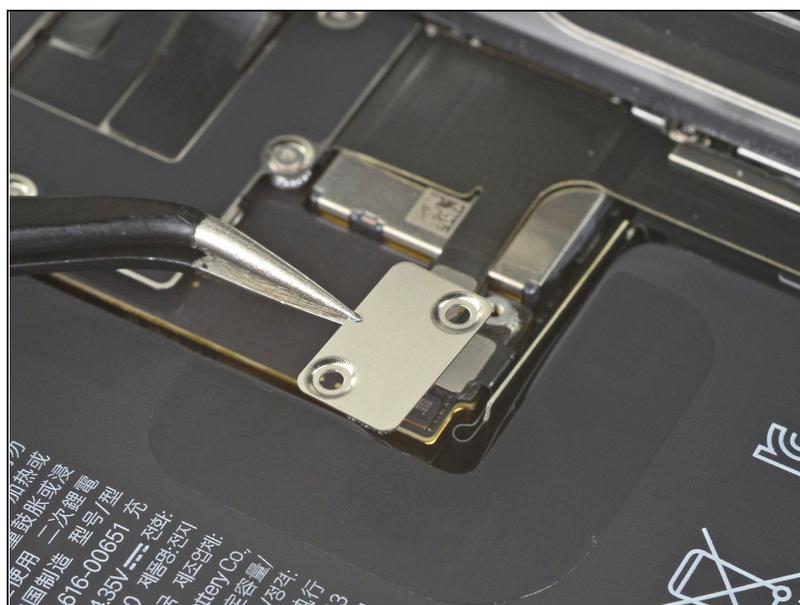
★ 再組み立ての際は、ディスプレイをオリジナルの位置に配置して、クリップを上端に沿って合わせ、上端を慎重に押してクリップを装着してから、残りのディスプレイを取り付けます。上手くはまらない場合は、ディスプレイの周囲にあるクリップの状態を確認し、曲がっていないことを確認してください。

手順 16 — バッテリー コネクタのカバーのネジを外します



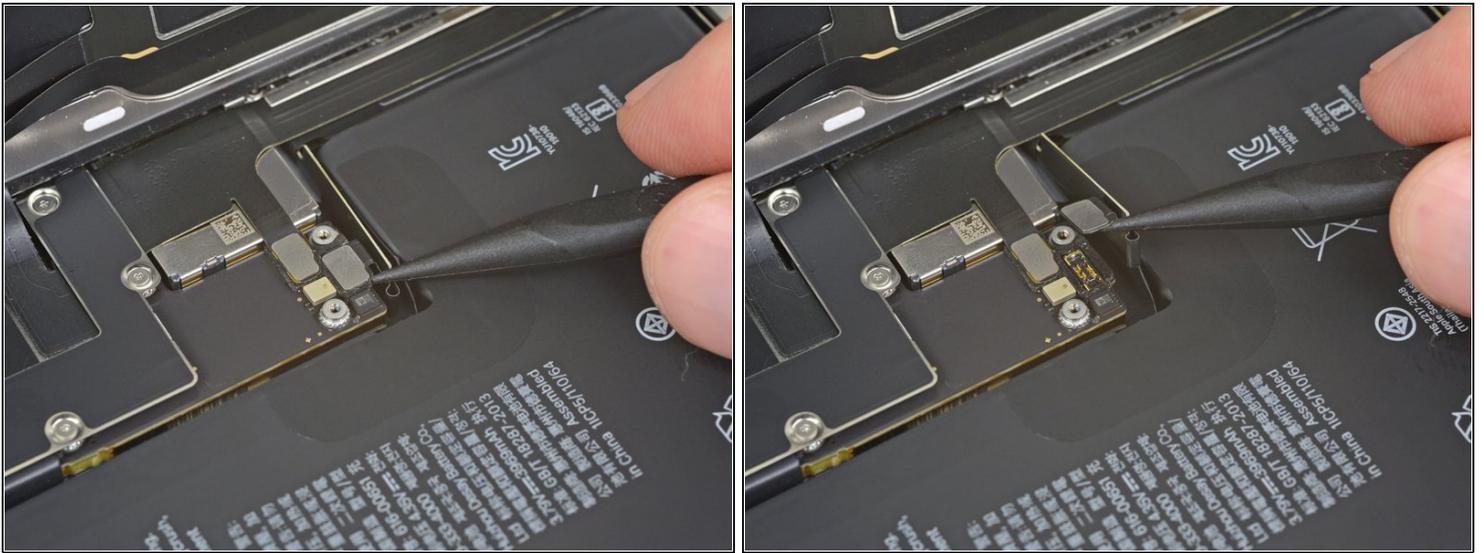
- バッテリーカバーブラケットに固定されている1.3 mm Y000 長ネジを2本外します。
 - ① この作業の間、[各ネジを保管してください](#)。再組み立ての際には、iPhoneにダメージを与えないよう、正しい位置に装着しているか確認してください。
- ☑ 再組み立ての際には、iPhoneの電源を入れて、ディスプレイを装着する前に全ての機能が反応するかテストをしましょう。作業に戻る前に iPhoneの電源を必ず切ってください。

手順 17 — バッテリーコネクタカバーを外します



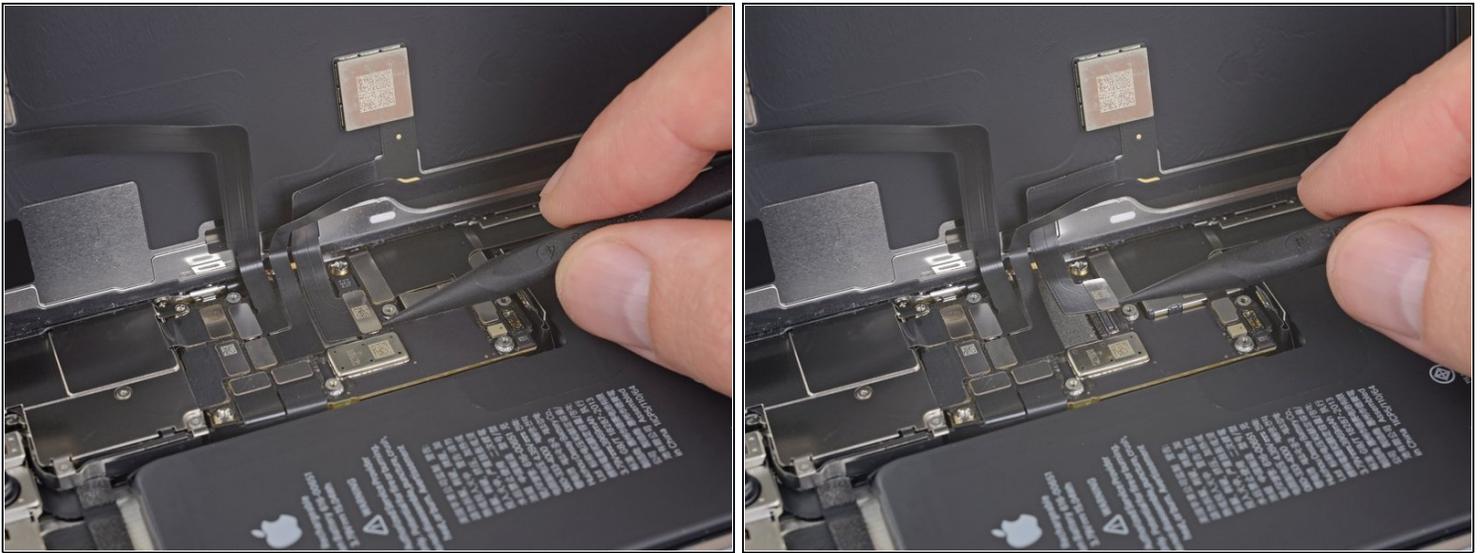
- ブラケットを取り出します。

手順 18 — バッテリー の接続を外します。



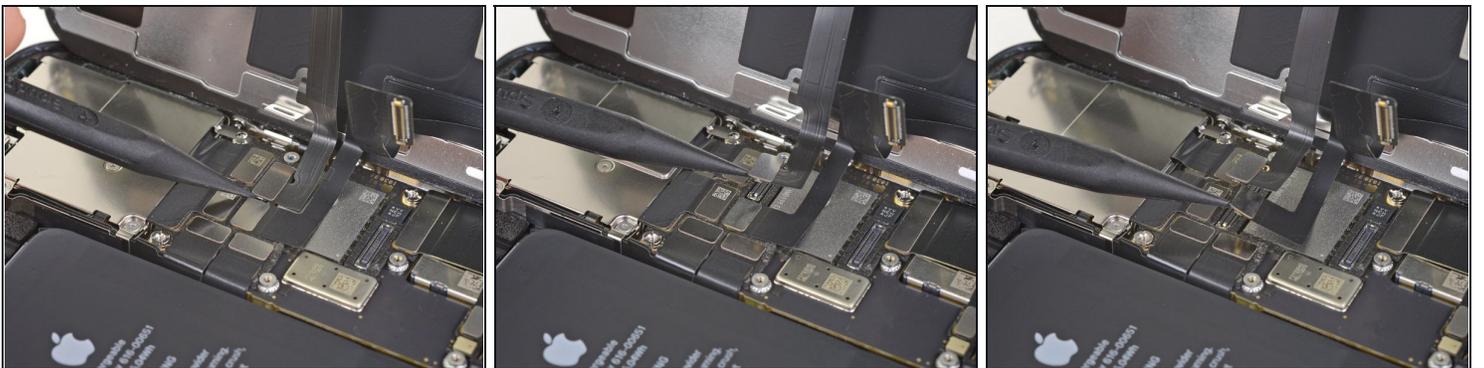
- スパッジャーもしくは清潔な指先で、バッテリーコネクタをロジックボードのソケットからまっすぐ引き抜きます。
- ① この周辺と他のボードコネクシオンの付近に付けられた黒いシリコン製シールにダメージを与えないようご注意ください。これらのシールは防水防塵性能を守るための特別なプロテクションです。
- コネクタをロジックボードから離すように曲げて固定します。アクシデントでロジックボードに接続してしまい、作業中、電源が入らないようにするためです。

手順 21 — OLEDディスプレイケーブルの接続を外します。



- スパッジャーもしくは指先で、OLEDパネルのケーブルコネクタの接続を外します。
 - ☑ このような[プレスコネクタ](#)を再装着するには、カチッと所定の位置に収まるまで、慎重に片側を位置合わせして押し込み、反対側でも同じ作業を繰り返します。中央部分を押ししないでください。コネクタの位置がずれていると、ピンが曲がって永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

手順 22 — フロントセンサとデジタイザの接続を外します。



- スパッジャーもしくは指先を使って、フロントセンサアセンブリのケーブルコネクタの接続を外します。
- スパッジャーもしくは指先を使って、デジタイザケーブルコネクタの接続を外します。
 - ☑ 修理終了後、スクリーンの一部が反応しない場合は、バッテリーの接続を外して、このコネクタを再度装着し直してください。カチッと所定の位置にしっかりと装着し、ソケットに埃やその他の異物がないことを確認してください。

手順 23 — ディスプレイアセンブリを取り出します。



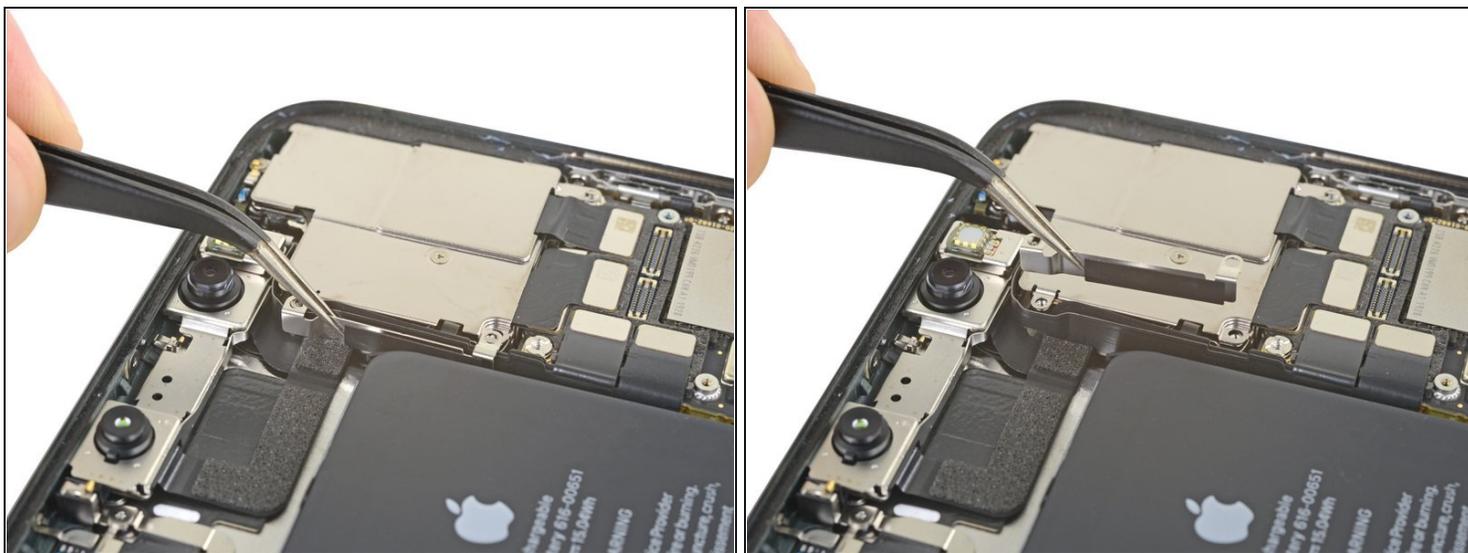
- ディスプレイアセンブリを取り出します。
- ★ 再組み立ての際は、ここで作業を中断して、[ディスプレイ端に沿って防水用接着剤を交換](#)することもできます。

手順 24 — Face IDフレックスケープルブラケットのネジを外します。



- Y000ドライバーを使って、背面カメラカバー左側の1.5 mmネジを2本外します。

手順 25 — ブラケットを取り出します。



- Face IDケーブルブラケットを取り出します。
- ☑ 再組み立て時に、フレックスケーブルをバッテリーから離すため、ブラケットを再インストールします。フレックスケーブルとロジックボード/カメラエリアの間にケーブルをスライドして差し込まないでください。

手順 26 — リアカメラカバーのネジを外します。



- Y000ドライバーを使って、リアカメラカバーを固定している1.2mmネジを2本外します。

手順 27 — カメラカバーを外します。

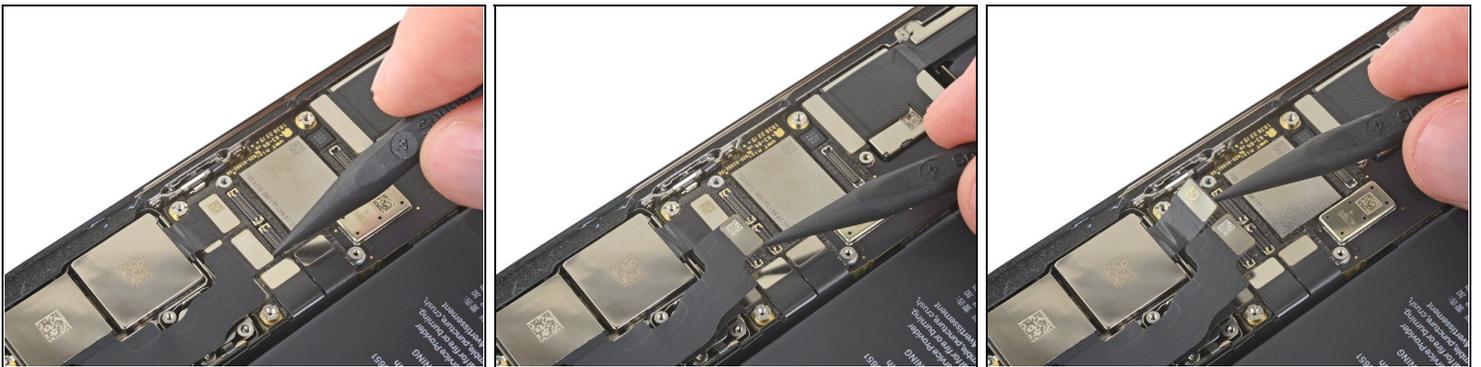


- カメラカバーをバッテリーに一番近い端から持ち上げて、取り出します。

☑ カメラカバーを再インストールするには、画像を真逆の方向にして確認してください。まず最初に、カバースロットに付いている2つの突起タブがカメラモジュールの外側端上のブラケットにしっかりと固定されるまで、カバーの OUTER エッジを下ろします。次に、蝶番のようにカバーを取り付けて閉めます。

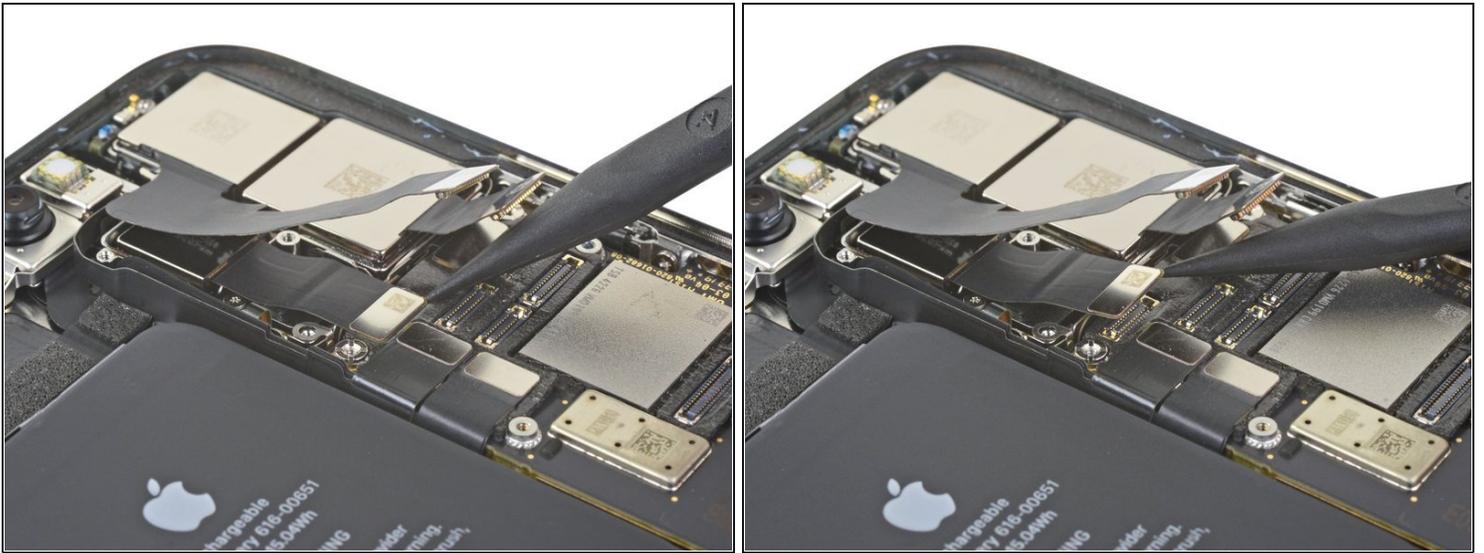
⚠ 2つの突起したタブが正しく取り付けられていない場合、カバーは平らに閉まりません。

手順 28 — 2つのカメラの接続を外します。



- スパッジャーもしくは指先を使って、2つのカメラケーブルコネクタをまっすぐ引き上げて、接続を外します。

手順 29 — 3番目のカメラの接続を外します。



- スパッジャーを使って、3番目のカメラの接続を外します。このコネクタは、前の手順で接続を外したケーブルの下にあります。

手順 30 — カメラアセンブリを緩めます。



- スパッジャーの先端をカメラアセンブリ左端の下にスライドします。
- iPhone本体からカメラを慎重に持ち上げます。
 - ① カメラアセンブリには接着剤が使用されていませんが、しっかりと押し込んで装着してください。

手順 31 — カメラアセンブリを取り出します。



- リアカメラアセンブリを取り出します。

交換用パーツとオリジナルのパーツをよく見比べてください。インストールの前に、残りのコンポーネントを移植したり、新しいパーツの接着剤シールを剥がしておく必要があります。

デバイスを再組立する際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？ [ベーシックなトラブルシューティング](#)を参照するか、[iPhone 11 Pro Maxのアンサーコミュニティ](#)で尋ねてみましょう。